

第 33 期海外情報連絡会第 4 回運営小委員会議事録

1. 日時 2011 年 10 月 7 日(金) 15:00～17:00
2. 場所 日本原子力発電(株) 本店 第 8 会議室
3. 出席者 剣田連絡会長、寺井副連絡会長、沢会計幹事、浜崎委員、廣瀬委員、黒田委員
議事録作成：植松庶務幹事

4. 議題

- (1) 第 3 回運営小委員会議事録確認
- (2) 第 45 回全体会議報告
- (3) 第 2 回講演会報告（要旨、会計報告）
- (4) 海外情報連絡会活動の目的、事業内容の見直しの要否について
- (5) 内規等整理について（H23.8.31 部会等運営委員会への対応）
- (6) 第 3,4 回講演会の準備
- (7) 平成 23 年度収支見込み

5. 審議内容

- (1) 第 3 回運営小委員会議事録確認

第 3 回運営小委員会議事録を確認し、ホームページに掲載することで了承した。

- (2) 第 45 回全体会議報告

連絡会長より第 45 回全体会議報告があった。全体会議議事録を確認し、ホームページに掲載することで了承した。また会報第 36 号についてもホームページに掲載する。

全体会議では 2011 年度上半期活動・収支及び年度活動計画・年度収支について報告した。また、会報第 36 号の発行を報告した。海外情報連絡会規約の改定並びに海外情報連絡会内規の設置について審議し承認された。海外情報連絡会規約の改定については、第 45 回全体会議にて承認された旨を学会事務局に連絡し、部会等運営委員会にお諮りする。海外情報連絡会内規の設置については、第 45 回全体会議にて承認された旨を、庶務幹事より学会事務局に連絡する。

- (3) 第 2 回講演会報告

連絡会長より第 2 回講演会報告があった。講演会議事録を確認し、今後、庶務幹事より講師に講演会議事録のご確認をお願いし、ご確認いただいたのち、ホームページに掲載することで了承した。

- (4) 海外情報連絡会活動の目的、事業内容の見直しの要否について

- ① 理事会文書（H23.9.16 付）への対応

H23.9.16 付理事会文書において、部会・連絡会、常設委員会の設置目的等の見直しが指示されたことから、本連絡会設置目的等の見直し要否につき審議した。本連絡会では定期的に講演会を開催し相当数の学会員の参加が得られており、有意義な活動を行っていると考えられる。また本連絡会規約第 1 条（目的）及び第 3 条（事業）並びにホームページの見直しの必要はないと考えられるが、今後は現状の規約の条文のなかで、福島事故の収束・解決に寄与する活動も行っていく。

設置目的等の見直しに関する運営小委員会検討結果については、庶務幹事より、上記のとおり学会事務

局に回答する。

② ANS 日本支部としての活動

福島第一発電所で働く従業員のために送られた ANS からの義援金（第 1 回義援金\$45,000, 第 2 回義援金\$100,000）について、ANS 日本支部として ANS への礼状及び義援金使途報告書を作成した。国際活動委員会委員長及び学会事務局と相談の結果、本礼状及び報告書は、学会長から ANS 会長へ発信することとし、H23.9.28 付で田中学会長よりローエン ANS 会長へ送付された。

今後の本連絡会の ANS 日本支部としての活動については、別途、国際活動委員会委員長と協議し、今後の対応を検討していくこととした。なお、国際活動委員会委員長と、海外情報連絡会長、副連絡会長との本件に関する会合は 11 月 28 日に実施することとなった。

(5) 内規等整理について

H23.9.16 付部会等運営委員会において、部会・連絡会が独自に定めている内規、要領、申し合わせ等の整理が指示されたことから、本連絡会の設置している内規の見直しにつき審議した。本連絡会の有する 2 件の内規（「米国原子力学会（ANS）論文賞審査員選出に関する内規」、「海外情報連絡会運営委員選出に関する内規」）について、学会の指定するフォーマットに則って改訂する。内規 2 件の改訂については、2012 年春の年会にて開催予定の第 46 回全体会議でお諮りし了承を得ることとする。

また、改訂した内規 2 件については、庶務幹事より学会事務局に期日までに連絡する。

(6) 第 3,4 回講演会の準備

① 第 3 回講演会

第 3 回講演会については、エネ経研アジア太平洋エネルギー研究センターにおられる Dr.Tran に「ベトナムにおける原子力導入の状況」についてご講演をお願いすることとなった。第 3 回講演会は日時等の調整の結果、11 月 28 日に日立 GE 殿大会議室（秋葉原ダイビル 18 階）にて開催する。

なお講演に際しては、Dr.Tram にアジア太平洋エネルギー研究センター小森氏が随伴される予定である。小森氏には、本講演についてエネ経研内部での調整を行っていただいております。また講演当日講師へ随伴もいただくことから、講師に対し謝金並びに交通費をお支払するとともに、小森氏へ交通費をお支払することを決定した（なお講師並びに随行者の移動は都内のため講師諸謝金予算の範囲内である）。

② 第 4 回講演会

2011 年春の年会において三又（元）原子力政策課長（現 商務情報政策局情報政策課長）にご講演をお願いしていたが、東日本大震災の影響により 2011 年春の年会が開催中止となった。松田原子力政策課企画調整係長にご相談したところ、2012 年春の年会の講演会については吉野（新）原子力政策課長にお願いするよう指示があったことから、吉野原子力政策課長にお願いすることとした。今後、庶務幹事より講演依頼を発信する。

(7) 平成 23 年度収支見込み

沢会計幹事より、平成 23 年度収支見込みについて報告があり、運営小委員会にて承認された。本収支見込みについては、庶務幹事より学会事務局に連絡する。なお、今年度は第 1 回及び第 2 回講演会講師より謝金をご辞退いただいていることから、残金に余裕ができています。

以 上